

開成中学校入学式 式辞

開成中学校・高等学校 校長 **野水 勉**

2020年4月6日

開成中学校への入学おめでとうございます。

入学する皆さんや保護者の方にとっての大事な門出の式であり、中学の新しい制服を着て、保護者の方と一緒に入学式へ出席することを大変楽しみにしていたことと思いますが、東京をはじめとする新型コロナウイルス感染拡大の影響で、公立の中学と違って、広い地域から公共交通機関を使って来なければならない状況を判断して、苦しい選択でしたが、一堂に集まって行う入学式を中止し、ホームページ上で式辞を述べさせていただきます。

改めて、開成中学校への入学を、教職員一同、心よりお祝いいたします。開成中学校へ入学できたことは、皆さんも保護者の皆さんも大きな誇りであるかと思います。これまで努力してきたことが報われた、という気持ちも強いかと思われます。その気持ちはこの2か月間十分に味わってきたかと思いますので、ひとまずここで切り替えてください。新しい中学の授業が始まります。開成へ入学する目標を達成できた、ということで緊張感がなくなり、そのまま気力が湧かなくなる生徒さんが少なくありません。開成へ入学できたことで、将来が約束されたと思うことは、全くの大間違いです。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面授業の開始は5月の連休明けが当面の予定になっていますが、開成の教育は、4月6日から始まります。少なくとも、この1か月は対面授業ができませんが、開成の各教科の先生方が様々な工夫をして、インターネットを活用し、自宅で学習するための教材を準備しています。新しい試みも少なくないと思いますので、戸惑うこともあるかと思いますが、自分で考えながら、時には遠

慮なく先生方に質問しながら、勉学に努めてください。5月中旬には、中間試験が予定されており、自宅での学習成果が試されます。

ただ、皆さんも保護者の方も、学校の成績にあまり一喜一憂しないようにしてください。学力をもった生徒の皆さんが集まっているので、学力の差はわずかです。成績に一喜一憂せず、皆さんの好きな分野を見つけ出し、個性を伸ばしていただくことを期待します。得意な教科でも、運動でも文化活動でも構いません。保護者の方にはお願いしますが、ご子は中学生になったので、ご子の自立を助け、個性を伸ばすよう、少し距離を置いて見守っていただくことをお願いします。「勉強しなさい」は、控えてください。

ご承知の通り、私は2月の合格説明会で皆さんにご挨拶された柳沢幸雄先生から、この4月1日に校長を引き継ぎました。柳沢先生とは東京大学の応用化学分野の研究室へ出入りした際に、開成の先輩後輩同士として知り合い、その15年後私が名古屋大学からアメリカ・ハーバード大学に研究留学した際に、先生が同大学の公衆衛生学部 (School of Public Health) の准教授として在籍されていたため、現地での1年半、公私にわたりお世話になりました。思いがけなく、柳沢先生から校長の後任を推薦されたことを大変光栄に思っております。

私は、東京大学工学部の修士課程修了後、5年間ほど原子力関係で仕事をした後、35年間名古屋大学で化学分野の研究・教育を担いましたが、縁があって30年近く留学生交流プログラムの運営や国際交流に長年携わってきました。20か国の70以上に及ぶ大学を訪問し、多くの海外有力大学との学術交流協定(姉妹校協定)を締結し、

相互の学生交流を推進しました。留学生が気持ちよく勉学に励んでもらうためには、留学生の様々な文化や宗教・国の背景の違いを理解しながら、日本の制度や考え方も丁寧に説明することが重要です。そして、相手の立場に立って考えてみる、ということが何よりも必要です。日本の大学生たちも、交換留学等によって海外大学に1年近く留学すると、自分たちが海外での留学生としての経験をすることで、積極性を増し、コミュニケーション能力の高い逞しい大人になって戻ってきます。

日本社会も、多様な背景をもった方々が急速に増えてきており、否応なくグローバル化の時代を迎えています。開成の生徒や卒業生の皆さんが、これらに臆することなく、外国語学能力を高め、多様性を十分に理解し、マイノリティー（社会的少数者）や弱い立場の方々を含め、相手の気持ち

を思いやることに努めながら、日本や世界で様々な分野でリーダーシップを発揮して活躍していただくことを期待しています。もし、皆さんが新聞を毎日読む習慣がなかったら、一部で結構ですので、新聞（インターネットではなく）を読む習慣を身に付けてください。日本の動きだけでなく世界の動きを是非読み取ってください。

開成の教育は、質実剛健、自由の精神の下で、教員の方々が不断に接触して、生徒が自主的、自律的に行動でき、個性を発揮するように努力しています。課外活動も盛んで、積極的に奨励しています。生徒の皆さんは、楽しみながら開成での学園生活を進めていただきたいと思います。

最後に改めて、皆さんと保護者の方々へ、入学をお祝い申し上げます。